



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
 議会事務局 TEL 0470-55-4804

第111号



鋸南町消防団出初式（岩井袋野球場）

は
や
わ
か
り

12月定例議会

都市交流施設の設置及び管理条例を制定 2ページ

補正予算

ドッグナビ導入 有害獣の捕獲向上を図る 3ページ

一般質問

小藤田・鈴木・緒方・渡邊・笹生・三国の6議員 4~7ページ

裏表紙

災害時の地域力 白馬村の取り組み 8ページ

12月議会

都市交流施設の

設置及び管理条例を制定

12月定例議会は、会期を10日から17日まで8日間で開催した。議案は、専決処分の承認2件、補正予算4件の他、都市交流施設の設置及び管理に関する条例の制定など、合わせて15件が提出された。また、一般質問は小藤田・鈴木・緒方・渡邊・笹生・三国の6議員が質問席に立った。

子ども医療費の通院助成

中学3年生まで拡大

現在鋸南町では、小学校3年生までの通院及び中学3年生までの入院について、医療費助成を行っているが、さらなる子育て支援のため子ども医療費の助成対象を拡大する条例の一部改正を全員賛成で可決した。

改正の内容は、子ども医療費に係る通院の助成枠を現行の「小学校3年生まで」から、新たに「中学校3年生まで」に拡大するもの。ただし、「小学校4年生から中学校3年生まで」の通院については、新たに所得制限が設けられる。

また、課税世帯について



小型特殊自動車（農耕用トラクター）

は、現行0歳から就学前までの自己負担額200円が、県の補助基準に合わせ一律300円に改正となる。

この条例は、平成27年4月1日から適用される。

税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、鋸南町税条例の一部改正を行った。

改正の主な内容は、小型特殊自動車の税率を引き上げるもの。

小型特殊自動車のうち農耕トラクターなどの「農耕作業用のもの」は1台につき2400円、フォークリフトなどの「その他のもの」は5900円へ税率が改正された。

※ただし、新税率の適用は平成28年4月へ1年間先送りされる見込み。

都市交流施設

利用料金等定める

旧保田小学校を活用する鋸南町都市交流施設の設置

及び管理に関する条例を、賛成多数で可決した。

条例の内容は、施設の利用・占用に係る利用料金の上限や、指定管理者の指定手続き・管理の基準など必要な事項を定めている。

条例制定について

の主な質疑

質問 都市交流施設の宿泊料金はいくらか。

総務企画課長 中学生以上一泊4千円を上限として規定し、その範囲内で指定管理者が料金を決定します。

質問 開館日や開館時間について町の考えは。

総務企画課長 開館日は年中無休、開館時間はできるだけ長く、という方針で協議を行う予定ですが、指定管理者・テナント事業者等の方針もありますので最終的には規則で定めたいと思います。



倒壊した岩井袋野球場観客席の手すり



ドッグナビ導入

有害獣の捕獲向上を図る

鋸南町有害鳥獣対策協議会に加入し、銃の免許を所持している30名の方については、26年9月12日に「鳥獣被害対策実施隊員」として委嘱を行っている。

今回の12月一般会計補正予算では、勢子（狩猟を行う時に動物を追い込んだりする役割）として必要な、猟犬の行動を的確に把握す

るためのドッグナビ3台及び首輪3個分の合計47万円が計上され、全員賛成で可決した。

これにより、有害獣の捕獲向上及び犬の安全確保を図っていく。

なお、この事業については全額県の補助金にて実施をするもの。

2件の専決処分

台風被害・選挙執行経費承認

一般会計補正予算関係の専決処分の承認については、2議案が上程された。

1件目は、10月6日の台風18号による施設の修繕料614万7千円及び所得税等納付金104万円の、合わせて718万7千円。

2件目は、12月14日に執行した衆議院議員選挙経費748万3千円で、そのほとんどについて国からの委託金を財源として見込んでいる。

この2件の議案については、全員賛成で承認した。

鳥獣被害対策

実施隊とは？

鳥獣被害対策の担い手の確保と実効性を高めるため、メリットを付与することで担い手確保を図ろうという観点から設置されたもの。

実施隊への優遇措置としては、狩猟税の軽減や公務災害の適用、活動経費に対する特別交付税措置等がある。



補正予算の主な内容

会計名	補正額 (補正後総額)	主な内容
一般会計 (第5号)	1,460万6,000円 (50億2,063万1,000円)	<ul style="list-style-type: none"> 公有財産購入費 鳥獣被害防止総合対策交付金 道路災害復旧工事費 職員給料・手当等の増
国民健康保険 特別会計 (第2号)	124万9,000円 (12億9,458万2,000円)	<ul style="list-style-type: none"> 保険料還付金の増

ここがききたい

いっぱん

質問

都市交流施設の準備

どこまで進んでいるか

質問 工事入札を行う段階で設計の見直しはあったか。

町長 11月28日の入札は不調でした。その段階での設計の見直しは行っていません。

質問 きよなん道の駅の出荷会員は160名、富葉里は300名と聞く。6月の段階では都市交流施設への農産物や加工品の出荷希望者が46人いたが、現在の希望者数とそれについてどう思うか。

町長 現在約70名の方が入会していますが、建物が改修され施設が稼働すれば参加者も増えると思っています。

質問 町政報告会で「高齢化の進む鋸南の農業について」質問があった。農家の

全国平均年齢が66歳で、鋸南町は70歳を超えている。専業農家で何歳まで働けると思うか。

町長 一概に何歳とは言いきれませんが、少しでも意欲のある方にこの都市交流施設を利用していただきたいと考えます。

町長 町は都市交流施設運



鈴木 辰也 議員

質問 地域防災計画は、行政の災害対応のためという側面が強いが、計画内容を町民の方に知らせる冊子等



小藤田 一幸 議員

営にあたり指定管理者制度をとった。当然、毎年委託管理業者にトイレなどの公共施設に係る費用、観光案内所等の人件費、電気代などの光熱費等を支払わなければならぬがその額は大きい。3月・6月議会では未回答だったが、いくらを見込んでいるのか。

防災力向上には

町の啓発活動が重要

を作成すべきと考えるが。総務企画課長 町で作ったものを配布する方法もあるので努力します。

質問 鋸南町では、災害時要支援者名簿を作成しているのか。

保健福祉課長 現在鋸南町



都市交流施設へ改修される保田小学校

副町長 宿泊施設・テナント業者・直売所などの管理運営形態がしっかりと確定すれば、3月の議会で説明します。



自立から10年を迎えた鋸南町



防災訓練に集まった人々

自立(律)から10年 町づくりはこれから

質問 白石町長が自立(律)を選択してからちょうど10年。まさに財政再建の10年だった。いま、財政状況に明るい兆しが見えてきているが、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率について経緯と今後の見通しは。

町長 経常収支比率は10年前の平成17年度が97・6%、

平成25年度が88・4%、9・2ポイントの改善でした。今後の見通しは、経常経費に充て可能な一般財源が減少する見込みから、比率は上昇すると想定します。実質公債費比率は平成19年度が22・2%、平成25年度が19・9%と、2・3ポイント改善しました。今後とも比率は改善し、平成29年度で

は16%程度となる見込みです。将来負担比率は平成19年度が225・5%、平成25年度が119・4%となり、116・1ポイントの大幅な改善でした。今後、地方交付税の減額などにより標準的な財政規模は年々減少するため、比率自体は若干上昇する見込みです。

質問 財政再建は道半ばで、

町づくりはこれからだと考える。町長の抱負は。

町長 町長に初めて立候補した際示した「ふるさと鋸南に元気をとりもどす、元氣宣言」を実現したいと強く思っています。今回の都市交流施設の整備とその関連した取り組みによって、長年の懸案であった新たな産業の創出に、道が開かれるのではないかと感じています。地方創生の時代を向かえ、今まで培ってきた資源等を活用し、町民の皆様の活力を最大限に引き出して、本格的な「まちづくり」を推進します。

では、作成していません。**質問** 災害弱者を地域全体でどのように助けるかは、地域防災の重要な課題だと考える。個人情報保護法があり、名簿作成は難しいことだと思いが、長野県では、県独自の事業として取り組んでいる。鋸南町でもできないことはないかと考えるが。

総務企画課長 基本の名簿をもとに、情報提供に同意をしていただく方向で進めていきたいと思えます。**質問** 災害発生時に町がやるべきこと、町民がやるべきことを明文化することも一つの考え方で、災害時は、町職員も町民も被災者であり、助け合わなくてはいけ

ないと思う。その為の啓発活動は、町の一番重要な仕事だと考えるが。

町長 訓練の際に、行政区の中で防災について議論することも重要だと思えます。**要望** ぜひその訓練や議論を実施してほしい。

質問 都市交流施設の商工業者向けの説明会で、委託

販売手数料が30%から35%と説明があつたが、その手数料では商工業者にとつて参加しづらいと思うが。

総務企画課長 設置管理条例で20%を上限とするように考えています。

要望 商工業者が参加しやすい状況をつくってほしい。



三国 幸次 議員



活用が期待される佐久間小学校



さくら遊歩道(佐久間ダム)

農業を守る施策を望む

頼朝桜 ささらなる集客を

質問 町の農業従事者の平均年齢は70歳を超え、このままでは今以上に衰退する。

質問 農地の基盤整備を行います。

質問 農地の基盤整備を行います。

重要な産業の一つで、これ以上の衰退は防がなければならぬ。あらゆる施策を実施するために六次産業

町長 一般の方々の協力もあり、13年間の費用合計は約7千万円です。26年春の花観光は水仙と合わせ17万5千人と当初より増えています。経済効果の把握は困難ですが、皆さんがおもてなしの気持ちを持ち、接客することで効果は上がると考えます。

継続させるべき施策を伺う。

があるが、年数が経過し、高齢化などで賦課金が払えなくなつた方がいると聞く。

「河津町の1割としても(桜だけで)30万人の観光客は見込める」と話していたが、水仙と合わせて3年前の20万人が最高だ。環境整備や宣伝など、新たな視点で観光客の増加施策を願う。

中山間地直接支払制度の導入を行うなど、農業施設の保全管理を推進しています。

町としての考えは、

職員が身に着け、指導して

また、有害獣対策の推進や新規就農対策として、育成給付事業も昨年から取り入

町長 関係機関と連携し、農地の有効利用を図りながら農業振興策を検討します。

質問 頼朝桜の費用対効果をとどのように感じているか。

質問 植える前に「河津町の1割としても(桜だけで)30万人の観光客は見込める」と話していたが、水仙と合わせて3年前の20万人が最高だ。環境整備や宣伝など、新たな視点で観光客の増加施策を願う。

有害獣対策費の増額を 旧佐久間小の再考を望む

質問 当町では、有害獣対策に力を入れているが、被害は増える一方であり、耕作放棄地が増加する中、最近では街中でもイノシシが目撃されるなど危険な状況

にある。そこでイノシシの捕獲報償金を近隣市と同額の1万3千円に、また防除

対策単独補助についても近隣に合わせ係った経費の2分の1補助に増額すべきと思うが。

町長 確かに一番低い補助率ですが、財政状況も加味し、有害鳥獣対策協議会と協議を行い、対策費の活用を検討します。

害は増える一方であり、耕作放棄地が増加する中、最近では街中でもイノシシが目撃されるなど危険な状況

にある。そこでイノシシの捕獲報償金を近隣市と同額の1万3千円に、また防除

対策単独補助についても近隣に合わせ係った経費の2分の1補助に増額すべきと思うが。

町長 確かに一番低い補助率ですが、財政状況も加味し、有害鳥獣対策協議会と協議を行い、対策費の活用を検討します。



渡邊 信廣 議員



笹生 正己 議員

棄地が増加する中、今年から県下2番目に有害鳥獣被害対策実施隊（30人）を組織したことは大いに評価する。しかし、過酷な条件の中での手当2千円は現在の最低賃金6384円からすれば安すぎるのではないかと

町長 経緯を踏まえ、有害鳥獣対策協議会と相談しながら検討します。

質問 旧佐久間小は、スポーツ合宿や町内団体の活動・イベントに活用し、26年からは、年2回自衛隊が利用しているとのことだが、

収入はどのくらいか。

総務企画課長 使用料としては7万円弱ですが、自衛隊員の笑楽湯の入浴料は56万6千円です。

質問 屋根材が飛ぶなど施設の老朽化が進み、このままでは、旧鋸南一中の二の

舞が懸念されるが修繕はどうするのか

総務企画課長 当面必要最小限の修繕で対応します。

要望 勝山小は鋸南小学校になり、旧保田小跡地が都市交流施設に生まれ変わる中で、環境の素晴らしい、

そして、広域避難場所であり地域の拠点である旧佐久間小の利活用について再考を要望する。



緒方 猛 議員

雇用創出&人口減対策の努力を

住民の要望生かせ

ます。

質問 自治体経営の総合評価が急激な人口減少率で現れ、県下ワースト1だ。都市交流施設で応分の活性化は期待されるが、人口減に対する具体的展望は。

町長 都市交流施設は約40名の方が新たに雇用されるものと見込んでいます。交流人口の増加が主眼となりますが、町の良さを知っていただいた先に、移住や定住への可能性があると考え

質問 雇用がなく若者が町に残れない。町の危急存亡を救うため、雇用創出に組織の長が目の色を変えてのトップセールスが必要と思うが、改めて認識を問う。

町長 地域の特性を生かし、国の支援を受けながら、自ら考える地方創生に取り組む考えです。

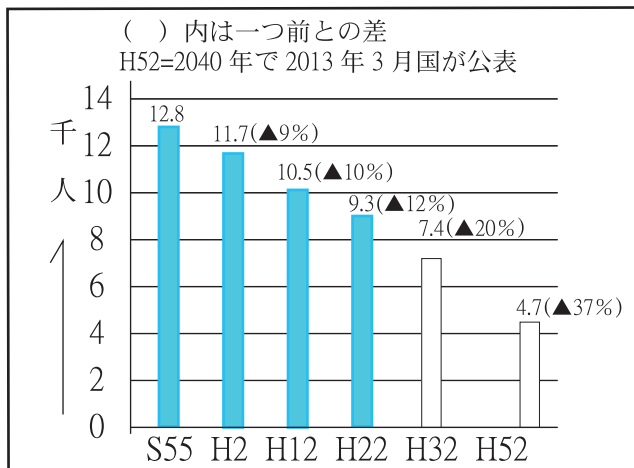
質問 空き家バンク事業については、26年3月・9月

にも質問したが、5年前の議会でも議論されている。その際、実施について検討すると答弁しているが進んでいない。現在全国63%の自治体が既に実施しているが、当町はどうして進まないのか。

町長 町における空き家状況は把握しきれいていません。今後、区長の協力を得て建物の状態の把握と所有者の意向調査を行います。

質問 町報の「声のバトンタッチ」で「行政に望むこと」の要望を生かすべく要請したが、記事そのものがなくなつた、なぜか。

町長 平成14年から連載し、子供の遊び場、雇用の確保、町の活性化などの意見をいただきましたが、記事を書いていただけの方を探すのが困難となりましてので、現在は新コーナーへの移行準備を進め



鋸南町の人口推計グラフ

ています。住民の声を聴くことは重要だと思っています。

災害時の地域力

白馬村の取り組み

昨年の11月22日夜、最大震度6弱の地震が長野県北部を襲いました。白馬村の堀之内地区などで多数の住宅がつぶれ、40人を超える重軽傷者が出ましたが、幸いにも死者や行方不明者はいませんでした。

東日本大震災から公助や共助の大切さを学んだ地域は多いと思います。警察や消防の公助はとても大きな役割を果たしますが、すぐ援助してもらえらるとは限りません。しかし、地域による共助は日頃の備えや訓練で、大きな役割も果たします。今回は、白馬村でその大切さを行動で示しました。中越地震をきっかけに、長野県は災害時住民支え合いマップ（地図）の作成を市町村に働きかけています。その中で避難に手助けが

必要な高齢者の住まいなどの情報を地図上に書き込み、それを地域住民で共有し、誰が支援するかを含めて事前に準備を進めて来ました。長野県では3月現在で、

め細かい支援計画や日常的な訓練により、今回の白馬村のように迅速な救出が行われることを目指して行きたいものです。

77市町村のうち66市町村で取り組みが進み、白馬村でも29地区のうち16地区で作成が終わっていったようです。マップ作成の過程で要援護者の情報を把握でき、今回の地震の対応にも結びつきました。まさに地域のきずなの強さだと思います。我々の地域でも住民によるき



白馬村の景観

10月16日	平成26年第5回議会臨時会 及び議員総会	12月10日～12月17日	平成26年第6回議会定例会
11月26日	議員全員協議会及び小学校跡地 等利用検討特別委員会協議会	12月17日	議員全員協議会
12月3日	議会運営委員会	1月7日	議会広報特別委員会

編集後記

南房総観光連盟の研修視察で白馬村を訪れたのは、長野県北部地震の二日前でした。

インバウンド（外国人観光客の誘致・集客）促進事業の先進地であるこの地は、スキー客や宿泊客が減少する中で、地域を巻き込み、外国人修学旅行客を農家民宿に呼び込む活動を始めた。

地域連携はここでも発揮され、言葉の壁を乗り越え、食事を一緒に作ることから始め、今では村を気に入ったりピーターが永住し、外国人自らペンションなどの事業を始めています。地域成長や経済活性化に大きく発展するインバウンド事業は、近くに国際空港もあるこの地にとって大変有利です。観光立県を提唱する千葉県も、この取り組みを生かしてほしいと思います。

議会の日誌

手塚